

令和6年度 評価計画及び自己評価

(計画・**中間**・最終)

仁方中学校区 校番1 学校名 仁方中学校

a 学校教育目標	自ら学び、心豊かな生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 生涯にわたり生き抜く力や社会に貢献できる人としての素養を身につける 〈ビジョン〉(将来の学校像) 知・徳・体をバランスよく育成し、地域・保護者・生徒から信頼される学校を目指す
----------	----------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	昨年度は、「考える授業づくり」「自己表現活動の充実」「自律的縦割り集団活動の充実」について取組を進め、自己肯定感や集団適応感の向上や自己表現活動の充実という面で成果を上げることができた。授業においても意欲的に課題に取り組む姿勢が定着してきている。今年度は「身近な生活場面と関連付けた課題設定による授業改善」「週末課題・キュビナ・読書活動等を活かした基礎学力の向上」に取り組む。また、昨年度からスタートした「仁方」という地域に焦点を当てた生徒が主体的に取り組む防災学習を継続・発展させていく。		
------------------------------	---	--	--

育成を目指す資質・能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	規範意識・公德心
-------------	-------	-------------	---------	----------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	9月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 確かな学力	① ○主体的に学び、思考力・判断力・表現力を育てる。	① 考える授業づくり	○身近な生活と関連付けた課題設定 ○「考える授業」の基盤となる生徒指導実践上の4視点の共有 ○自己表現活動の充実	○生徒の肯定的評価	85%	88.8%	104.5%	A			
				○教職員の肯定的評価	100%	96.0%	96.0%	B			
				○学校楽しい～3【学習意欲】の肯定的評価	85%	89.5%	105.3%	A			
		② 基礎学力の定着と向上	○週末課題・読書活動・補充学習・コグトレの計画的な実施 ○キュビナの効果的な活用	○学力検査・実力試験の結果	県平均以上	国数	—4 —3	C			
				○生徒の肯定的評価	80%	88.7%	110.9%	A			
				○保護者の肯定的評価	70%	68.6%	98.0%	B			
** 豊かな心	○自らを律し、他人を思いやる豊かな心を育む。	自己肯定感・集団適応感の向上	○自律的縦割り集団活動・生徒会活動の充実 ○生徒が主体的に取り組む防災学習の推進	○生徒の肯定的評価	90%	95.9%	106.6%	A			
				○保護者の肯定的評価	90%	97.9%	108.8%	A			
				○学校楽しい～と4【自己肯定感】の肯定的評価	75%	83.7%	111.6%	A			
				○学校楽しい～と6【学習集団における適応力】の肯定的評価	85%	94.5%	111.2%	A			
		③ 規範意識の向上と豊かな心の育成	○ON中メソッドの定着(時・場・礼) ○ボランティア活動の充実(地域貢献) ○生徒会委員会活動の充実	○生徒の肯定的評価	90%	93.7%	104.1%	A			
				○保護者の肯定的評価	90%	97.9%	108.8%	A			
				○教職員の肯定的評価	90%	96.0%	106.7%	A			
				★ たくましい体	○たくましい体を育成する。	生徒自らが主体的に取り組む体力の向上	○体力テスト重点種目①ハンドボール投げ	県平均以上	16.7%	16.7%	D
○体力テスト重点種目②持久走	県平均以上	33.3%	33.3%				D				
○呉チャレンジマッチ重点種目の結果	3位以上										
心身の健やかな発育	○NSRを核にした生徒の居場所づくり ○計画的な教育相談の推進 ○外部講師を活用した保健・安全教育の推進	○生徒の肯定的評価	90%			92.4%	102.7%	A			
		○保護者の肯定的評価	90%	98.9%	109.9%	A					
		○外部講師授業の生徒の肯定的評価	90%								
業務改善	○教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整備する。	組織的な業務改善の推進	○計画的な授業確保と行事の見直し ○会議の精選と効率化	○時間外勤務が月45時間未満の教職員の割合	100%	57.5%	57.5%	D			
				○生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合	80%	75.0%	93.8%	B			

【k:評価】 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60